



ぼくのおばあちゃん

八千種小学校4年(当時)

城谷海理

ぼくのおばあちゃんは、とてもやさしくて、ぼくが小さい時にはだっこをいっぱいしてくれました。旅行にもたくさん連れて行ってくれました。新かん線が好きだったぼくとお兄ちゃんのために、新かん線に乗せてあげたいと、名古屋旅行にも連れて行ってくれました。それから、仕事の帰りがおそくなるお母さんの代わりに、料理を作ってくれたり、幼稚園の時にはむかえに来てくれたりしました。

けれども、その回数もだんだん少なくなってきました。それは、おばあちゃんの病気の具合が悪くなってきたからです。手がふるえたり、転びやすくなったり、けがをしたりすることが増えてきました。おばあちゃんの病気はなん病でしょうじょうが進んでいくそ

うです。病院で薬をもらって飲んでいますが、しょうじょうは悪くなっています。ぼくは、おばあちゃんの病気がよくなると思っていたので、とても悲しかったです。薬の副作用で、にん知しょうのしょうじょうも出てきました。

ぼくは、学校で「にん知しょうサポーター」の学習をしました。にん知しょうは、だれもがなる可のう性があるのうの病気です。物わすれがひどくなったり、今日が何曜日か分からなくなったりするそうです。にん知しょうの人には、いろいろなことを思い出してもらえように、やさしい声かけをすることが大切だと教えてもらいました。だから、おばあちゃんに会ったら、やさしく声をかけてあげよう」と心に決めていました。

ぼくは、入院しているおばあちゃんのお見まいに行きました。勇気を出して声をかけようとしたけれど、ひさしぶりにおばあちゃんに会ったので、うまくできませんでした。それに、前よりも病気がひどくなっていたので、かわいそうで声をかけることができませんでした。おばあちゃんはいっぱいしゃべっていました。ぼくは、お母さんとお兄ちゃんの後ろにかくれていま

した。

その帰り道、ぼくはおばあちゃんとしやべりたかったなあと残念な気持ちになりました。次に会う時は、いっぱいしゃべりたいと思いました。おばあちゃんの好きな甘いおやつをいっしょに食べながら、ぼくががんばっていることをしゃべりたいです。そして、ぼくとお兄ちゃんのことを大切にしてくれたおばあちゃんを、え顔にしてあげたいです。おばあちゃんには、いつまでも元気でいてほしいです。

SDGsから学んだこと

高岡小学校6年(当時)

豊國羽音

私は、これまでSDGsという言葉をテレビで見たことはあっても、どんな取り組みをしているのか全然知りませんでした。

学校の総合的な学習の時間に、SDGsを学んで、環境問題や人の不平等などをなくすための取り組みであることを知りました。SDGsには、十七個の目標があり、それは、二〇三〇年までに持続可能でよりよい世界を目指すためのものでした。

その中で私が一番問題だと思ったのが、人や国の不平等です。今、多くの国でかつて

ないほどの格差が広がっていることを知りました。二〇一七年には、世界の最も豊かな一%の人が、世界全体の富の三十三%をしめていたそうです。

世界だけでなく、日本の中でも格差があります。日本は世界第三位の経ざい大国でありながら、七人に一人が貧困状態にあり、一人親世帯では半数以上が貧困状態にあります。また、高れい者世帯の所得格差も拡大しており、六十五才以上の高れい者のいる世帯の貧困率は、二十七%に達しています。

ここまでの格差があつていいのでしょうか。私は五年生の時に、高れい者疑似体験をしました。視界がせまくなる眼鏡をかけ、こしがのびないようにしてから軍手をはめました。その状態で、ペットボトルのふたを開けたり、財布からお金を取ったりするのが大変だったのを今でも覚えています。高れい者は生活するだけでも不自由なのに、その上格差もあるのは大変だろうなと思いました。

社会科の勉強で、バリアフリーという言葉が出てきました。障がいのある人や高れい者のかべとなつているものを取り除き、みんなと同じように生活できるようにするとい

う意味があります。学校のスロープやノンステップバスなど、身近なところでバリアフリーの取り組みが多く見られます。障害となつているものを取り除くだけでなく、格差のかべも取り除いていく必要があると思います。

私にできることを考えてみました。格差を無くすことは難しいけれど、高れい者が道に迷って困っていたら助けたり、お金を出すのに苦労していたら手伝ったりする。そんな小さなことなら、すぐにできると思います。

これからは、高れい者だけでなく、いろんな人が平等で暮らしやすい世の中になつてほしいと思います。そして、私はいろんな人の手助けができる人になつていきたいです。



福岡小学校1年(当時) 長岡璃茉

生活科学 センター だより

令和5年度兵庫県内の 消費生活相談状況

県内の消費生活相談窓口に寄せられた相談件数は、前年度から少し減少したものの、5年連続4万件を超えています。特に※SNS上の広告をきっかけとした詐欺的投資トラブルが急増し、定期購入トラブルは高水準で推移しています。

1 契約者年代の状況

県内の苦情相談における年代の割合を見ると、60歳以上が全体の42・7%、70歳以上は27・0%と高齢者の占める割合は依然として高くなっています。

当センターでの相談者の年代を見ると、60歳以上が約53・5%、70歳以上が約32・3%と県内状況と比べ大変高くなっています。
2 詐欺的投資トラブルが急増！被害は高額！

SNS上の広告をきっかけに投資グループに誘われたり、中には著名人を騙るSNSや動画を信用して投資し、被害にあったケースも多数みられました。

県内の消費生活センターの相談で把握している被害件数は464件で、前年度182件の約2・5倍と急増しています。

被害総額は18・3億円、1件当たりの平均被害額は570万円で、5千万円を超える相談が4件あるなど被害額が高額となっています。

年代別では、50歳代からの相談が最多（110件）となり、40歳以上の増加幅が大きく、特に70歳代では前年度の約4・4倍（9件→40件）になっています。

実際にはより多くの被害があると推測されます。最近当センターでも同様の相談を受けています。

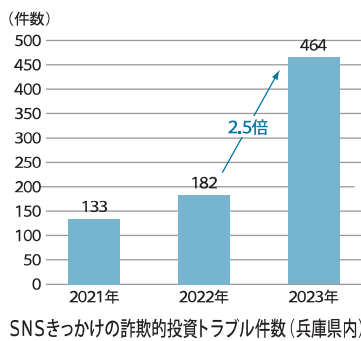
① SNS上の投資グループに注意。

確実に儲かる話はありません。

② 振込先に個人名義の口座を指定された場合、絶対振り込まない。

通常のFX取引で個人名義の銀行口座を使って入金させることはありません。

③ 無登録業者との取引は行わない。
④ FX取引の仕組みがよくわからなければ契約しない。



3 定期購入トラブルは高水準で推移

お試しで買った商品が2回目以降も定期的に送られてくるトラブルですが、契約する商品は化粧品、健康食品が多く、インターネットによる申し込みが特に多くなっています。また新聞広告からの申し込みでは94・7%が70歳以上の相談です。

4 害虫駆除サービス・鍵の解錠・電気工事などの「暮らしのレスキューサービス」、「未成年者のインターネットゲーム課金」「美容医療」等のサービスに関する相談が増加しています。

不審に思ったり、トラブルが生じた場合は、すぐに消費生活センター（局番なしの188）にご相談ください。

人権標語

だいじょうぶ 友だち気づかう
やさしい心
福岡小学校3年(当時)
永井豊美

笑顔はね みんなを守る
1つのあかし
田原小学校4年(当時)
内藤莉子

あいさつは 笑顔をかわす
あいことば
福岡西中学校2年(当時)
横峯有紗

思いやり みんなの心に
花が咲く
福岡東中学校3年(当時)
庄 凧

※SNSとは、ソーシャルネットワークキングサービス
の略で、インターネット上のコミュニケーションサイトのことです。

消費生活の相談や問い合わせ、苦情は、
神崎郡消費生活中核
センターへ
(☎22・4977)

秘密厳守 相談は無料
相談日時 火・金曜日
9時～16時
(月曜日は休館日)



福岡東中学校3年(当時) 川端紗季



福岡西中学校3年(当時) 堀川晴生



田原小学校2年(当時) 高橋ななみ

松岡五兄弟 柳田國男

第77話



福崎の身近にある歴史を掘り起こそう

松岡國男少年の旅①

神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 井上 舞

のです。

しかし、まだ12歳の國男を一人で関東に行かせるわけにはいきません。当時帝国大学医科大学の学生であったもう一人の兄、通泰が國男を迎えにきました。おそらく、すでに鼎は多忙であり、ちょうど夏期休業中であつた通泰が、送迎役を引き受けたのでしょう。

柳田國男は生涯にわたって日本全国を旅し、各地に残された風俗や伝承を収集し、また、旅先で見聞きした出来事をまとめ、著作や新聞紙上で発表しました。そうして、旅を通して得られた様々な知見を基に、民俗学という学問を切り開いていきました。柳田國男や民俗学について考えるとき、「旅」はとても重要なキーワードなのです。

そんな國男が、最初の大きな「旅」を経験したのは、明治20年（1887）8月のこと。この年の2月、帝国大学医科大学別課医学科を卒業した長兄の鼎が、布川（現茨城県北相馬郡利根町）で医院を開業。経営が軌道に乗ってきたため、國男だけが一足早く鼎のもとに引き取られることになった

た。また、福崎と姫路をつなぐ播但鉄道（現在のJR播但線）は明治27年の開通。姫路と神戸をつなぐ山陽鉄道（現在のJR山陽本線）は明治21年の開通。まだ鉄道を使つて神戸に行くことはできず、人力車がもっとも効率的な移動手段だったのです。

この旅は國男にとって、とても印象深いものだったようです。最晩年の著作である『故郷七十年』には、70年以上前の旅で見聞きした光景が、まるでつい先日の出来事のように、鮮明に語られています。國男と通泰は、明治20年8月に北条（現在の加西市北条町）を出発しました。まず、人力車に乗って神戸に向かったのです。明治に入り、東西をつなぐ鉄道は少しずつ延伸を続けていましたが、全線開通には至っていませんでした。上京するためには、神戸から船に乗るのが最善の方法でし

ちなみに、近年では観光地で見ることのなくなった人力車ですが、明治3年に東京で発明されたと言われています。『北条町誌』によれば、加西郡（現加西市）では明治13年ごろから使用されはじめ、明治18年頃には業者が増加してきたそうです。また、『故郷七十年』には、國男と弟たちが毎日のように、辻川にあった人力車の中継所に通つたというエピソードが残っています。この時期は交通手段としての人力車が隆盛を極めた時期でもありました。

そうした中で、とりわけ強く印象に残つたのは、明石のあたりで見た外国人の海水浴でした。日本の海水浴は、幕末に西洋の医学を学んだ医師らによつて広まったとされ、当時は娯楽ではなく医療行為として推奨されていました。一方、来日した欧米人を中心とする外国人が、蒸し暑い日本の夏を乗り切るために、海水浴を楽しんでいたといえます。（国立公文書館アジア歴史資料センターHP「知つてなるほど 明治・大正・昭和初期の生活と文化『海水浴の誕生—余暇は湘南の海で—』」
<https://www.jacar.go.jp/seikatsu-bunka/p02.html>）

明石の海水浴場の詳細はわかりませんが、明治26年発行の『須磨誌』という地誌によれば、明治14・15年頃に兵庫県によつて須磨に公衆の海水浴場が設置されたと記されています。この頃から脚氣患者が来ることが多かつたと書かれているため、この海水浴場も病気の治療施設としての側面が強かつたのではないかと思われます。

慶応3年（1867）に神戸

が開港し、神戸には外国人が住み、働く場所となる居留地が作られました。彼らは「外国人遊歩規定」という規定のため、自由に行動できる範囲に制限がありました。神戸の場合は、神戸港から10里（約40km）と定められていました。若い國男が見たのは、神戸にやってきた外国人たちが、ひとときの涼を求めて居留地を離れ、海水浴を楽しむ姿だったのかもしれない。



大正頃の明石の浦

（西田繁造編『日本名勝旧蹟産業写真集』近畿地方之部、富田屋書店 大正7・国立国会図書館デジタルコレクション）

地域に学ぶ 出会い・感動・発見 2024トライやる・ウィーク



「トライやる・ウィーク」を終えて

福崎町立福崎東中学校長 戸川 勝

今年度も6月3日(月)から5日間、町内の200名近い中学2年生が、63の事業所で「トライやる・ウィーク」として、職場体験活動を実施させていただきました。

受け入れてくださった事業所の数がコロナ禍前に近い状態に戻り、また新規受け入れ事業所も7か所あり、生徒たちはより充実した活動ができるようになりました。コロナ禍で規模を縮小して実施せざるを得なくなった数年を経て、こうやって例年通りの活動に戻った状況を見ると、感謝の気持ちが一層深くなりました。各事業所の担当者の皆様方には、通常の業務に加え、生徒たちのご指導に時間と労力を費やしていただき、本当にありがとうございました。おかげをもちまして、今年度も大きな成果を上げることができました。

兵庫県では、「心の教育」の充実を図るため、県民の参画と協働による兵庫型「体験活動」を推進しています。生徒の達成感や自己有用感を高めるために、そして学校、家庭、地域の連携を深めるために、「トライやる・ウィーク」の活動を今後も充実させていきたいと考えています。

さて、私はこの期間、できるだけ各事業所での生徒の活動を見てきました。時間に制限がありますので、1つの事業所に滞在した時間はほんの少しだったのですが、私自身にも大きな発見がありました。

まず、1番驚いたのが、私が過去に福崎西中学校で担当した学年の生徒が、中学生時代に「トライや

る・ウィーク」でお世話になった自動車販売店と同じ系列の整備工場で働いていたことです。一瞬時系列が混乱し、本校の生徒と勘違いしそうになりましたが、冷静に考えると彼は今年20歳になります。6年前の体験から時を経て、同じ職種で働いていたのです。さらに、幼稚園でも同校の卒業生が働いていました。福崎町では「ふるさと学習」にも力を入れています。この「トライやる・ウィーク」の活動も大きく貢献していることを実感しました。

別のこども園を訪問すると、本校の音楽教師と生徒がピアノとアルトサックスのアンサンブルで、大いに盛り上がっていました。お寿司屋さんでは、注文したお寿司を生徒に握ってもらいました。量販店では、教育委員様が偶然買い物にいられていて、本校生徒が緊張しながら接客をしていました。また別のある量販店では、失敗してしまった生徒に対し、その失敗を次に生かせるように優しく指南していた。だいて指導者の方のお話に感動しました。かつての教え子の保護者の方もたくさんの事業所で働かれており、久しぶりの再会で教え子の現在の様子を聴けたことも、うれしい出来事でした。

最後になりましたが、「トライやる・ウィーク」の活動を支えくださった福崎町「トライやる・ウィーク」推進協議会、両中学校区推進委員会、地域の皆様にあらためて感謝申し上げますとともに、来年度以降も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

生徒の感想

■自分に与えられた仕事はしっかりやりとげようと思いました。達成感を毎日感じることができて楽しかったです。(福岡東中)



■あいさつの大切さと、コミュニケーションの大切さを学びました。学校でもあいさつを元気にしようと思いました。(福岡東中)



■トライやる・ウィークを通して、自分の課題を見つけたので、それを直せるように頑張りたいです。(福岡東中)



■仕事は楽しいことばかりではなく、大変なことや辛いこともたくさんあるということが分かった。(福岡東中)



■大人、保護者への感謝の気持ちを改めて感じることができた。これから家の手伝いをもう少し頑張っていきたい。感謝の気持ちを忘れずに伝えたいと思った。(福岡東中)



■作業をして、成功して終わったときの達成感やうれしさを学ぶことができました。大人の人の優しさをもとても感じられて、そんな風になりたいと思いました。(福岡東中)

※写真と感想は実施後のまとめからそれぞれ抜粋したものを掲載しており、相互に関連するものではありません。



■トライやる・ウィークで、自分が何気なく過ごしている裏でもいろんな人に支えてもらっているんだなとあらためて実感しました。だから、「いろんなところで支えてくれている方々に感謝しないとな。」と思いました。また、自分がそうやってみんなを支えられる人になりたいです。(福岡西中)



■仕事のしんどさ、人と話す楽しさを知ることができました。自分から進んでみんなのために行動できるように頑張りたいです。(福岡西中)



■トライやる・ウィークを終えて思うことは、仕事のときは絶対に敬語を使うことが大事だなと思いました。また、家に帰ったあと、家族と話す機会が増えてよかったなと思いました。(福岡西中)

■金曜日に最後の敬礼をするとき、とてもさみしい気持ちになりました。活動場所の指導者の方が「良い大人になってくださいね。」と言われて、とても私の心に響きました。私もカッコいい大人になれるように頑張りたいと思います。(福岡西中)



■これからは、人の目を見て話をするのを頑張りたいです。子どもたちに憧れられる「カッコいいお姉ちゃん」になれるように頑張りたいです。子どもたちが可愛かったです。(福岡西中)



■トライやる・ウィークに行って、経験したことのないことや、コミュニケーションの大切さ、仕事の大変さなどを学びました。まだ将来については考えていないけど、今回で学んだことを、将来や学校生活、日常の生活に活かしていきたいです。(福岡西中)



【保護者の感想】

■5日間、本当に良い体験をさせていただき本当にありがとうございました。娘はデイサービスへ行きました。「大変やけど楽しい！」と毎日イキイキと通いました。私も娘の話を聞くのを毎日楽しみにしていました。“仕事”というものに対する緊張感や責任感を体感できたように思います。(福岡西中)

■トライやるに参加させていただき、ありがとうございました。学校とは違う場所で「働く」ということを学ばせていただく機会を通して少し成長したと思います。(福岡東中)

■普段は携帯やゲームをする時くらいしか楽しそうにせず、家族と話すのも面倒くさそうにするようになってしまっていたけど、トライやるに行かせて頂いてから楽しそうにトライやるの話をしてくれるようになり、1週間では足りない！！個人的にお礼に行きたいとまで言うようになり嬉しかったです。(福岡西中)

■授業では学べないことを学んだり、地域の大人の方とコミュニケーションをとれたり、とても良い経験ができたと思います。受け入れる事業所の方も、ご苦労がたくさんあったと思いますので感謝しております。(福岡東中)

■5日間たいへんお世話になりました。初日から楽しかった様子をたくさん聞かせてくれ、不安もなく「楽しく学んでおいで！！」と送り出すことができました。地域の方々ともたくさんふれあう機会があったこともうれしかったです。与えられた課題に、自ら考えて、よりよいものにしようと工夫し、みんなでそれを実行し、やり遂げた達成感と自信と大きな経験を得ることができました。大人になってもこのトライやる・ウィークの5日間を忘れないと思います。ありがとうございました。(福岡西中)

■活動のおかげでまた一段と成長できた気がします。自分の長所と短所がよく自分で理解できていたように思いますので、このような機会をいただけて感謝しています。ありがとうございました。(福岡東中)

■とても貴重な体験をさせていただいたことに感謝です。自分の希望のところにに行けたということもあり、大充実の5日間だったようです。感動したことをとても興奮気味に話してくれました。(福岡東中)

【事業所の感想】

■若い子の意見を聞くとても良い機会でした。なかなか学生とつながりをもてる場もないので、この機会を今後も大切にしたいです。

■素直で真面目な生徒さんばかりで、中学生に対してこれまで以上に良い印象を持つようになりました。今回のトライやるウィークを一つの経験として、これからも頑張ってください。

■全員熱心に取り組んでいました。来所者の方も中学生をあたたく見守られていました。学校ではできない体験ができたのではないかと思います。

■清掃活動は面倒がるかと思いましたが、皆とても熱心に細かいところまで取り組んでくれました。ありがとうございました。

■最初は緊張していたようだったが、挨拶、返事は常にしっかりしていた。「メモを取るように」「生返事をしない」「何かあればすぐ報告」をしっかり守っていた。やることが終わっても常に「次何をすればよいか」を聞き、よく取り組んでくれていた。

■真面目に一生懸命頑張ってくれました。子どもたちへのプレゼントも真心こめて作ってくれ、感激しました。帰るときに喜んでくれてうれしかったです。別れを泣いている子どももいました。

■若い中学生さんが休まずに毎日来てくれたことによって、変わりのない日常生活が、活気のある生活に変わった。二人とも、利用者の方に分かりやすい言葉でしっかり話をしていた。職員も二人の生徒さんから学ぶことが多かった。若いエネルギーを発揮して、利用者さんとこだわりのない接し方をしてくれていたことにとっても好感が持てた。

令和6年度 「トライやる・ウィーク」登録事業所

農業関係

兵庫西農業協同組合 旬彩蔵 福崎
牛尾牧場
農事組合法人 西治宮農組合

販売関係

(株)ライフコーポレーション福崎店
(株)ラ・ムー福崎店
(株)多田呉服店
(株)銀ビルストアー
ボンマルシェ福崎店
ファミリーマート福崎南インター店
ナンバホームセンター福崎店
(株)マルフク
ゆずり葉
ユニクロ福崎店

自動車関係

ネットトヨタウエスト兵庫(株) 福崎店
ネットトヨタ兵庫(株) 福崎店
神戸トヨペット(株) 福崎店
(株)神戸マツダ 福崎店
兵庫トヨタ自動車(株) 福崎店
有限会社 福崎石油
有限会社 新栄自動車整備商会

製品製造関係

株式会社マンダム福崎工場
福伸電機株式会社
ウシオ精工株式会社

食品製造関係

(株)もちむぎ食品センター
もちむぎのやかた
廻鮮寿し たいの鯛 福崎店
有限会社 長尾商店「海舟丸」福崎店
ミモザ プリマヴェーラ
蕎麦とさーもんと…有庵
焼肉ハウス北山
福崎町給食共同調理センター

子育て支援施設

西部子育て学習センター
東部子育て学習センター
田原幼稚園
姫学こども園
福崎幼稚園
福崎子育て支援センター
サルビアこども園
高岡幼稚園
八千種幼稚園

公共・公益

福崎八千種郵便局
福崎新町郵便局
福崎町立図書館
姫路市中播消防署
兵庫県福崎警察署
防衛省自衛隊兵庫地方協力本部
姫路地域事務所

理美容

フクダ美容室
アレキサンドル de アバン 福崎店
spaim・Rinz rich county

医療・福祉関係

社会福祉法人 社会福祉協議会
福崎町養護老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム サルビア荘
社会福祉法人 高岡の里福祉会
もちの木園
CHIAKI ほおずき福崎
内海慈仁会 姫路北病院
アキタケメディカル ふるさとの家
有限会社 愛の里／季節の華 株式会社
峰の会作業所
たかはしサポートセンター
花さきデイサービス
小規模多機能ホーム もちもちの木
訪問看護リハビリステーション
ふくさき

情報関係

(株)フォトスタジオカワモト
中井総合印刷株式会社

地域活動

柳田國男・松岡家記念館
神崎郡歴史民俗資料館
福崎町文化センター
福崎町教育委員会 社会教育課
福崎町観光交流センター (株)PAGE

生活を豊かに

(株)福崎インター自動車学校
(株)メディカ・ジャパン 文珠荘
神戸医療未来大学

活動場所登録ありがとうございました

さまざまな体験活動を通して、学校では学べない勉強や体験をしようと、兵庫県下の中学生を対象に実施されている「トライやる・ウィーク」。福崎町の中学2年生約200名を受け入れていただける事業所・商店・施設等を募ってきました。その結果、「地域の子どもたちを地域のみんなで育てる」というこの事業の趣旨をご理解いただき、上記の活動場所を登録していただきました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

福崎町「トライやる・ウィーク」推進協議会

＜新規登録のお願い＞

令和7年度も「トライやる・ウィーク」を予定しています。新たにご協力いただける事業所・商店・施設様がありましたらご登録くださいますようお願いいたします。

連絡先：福崎東中学校・福崎西中学校・福崎町教育委員会